

株主のみなさまへ



S.ISHIMITSU&CO.,LTD.

第58期 中間報告書

平成19年4月1日～平成19年9月30日

 石光商事株式会社

証券コード:2750

株主のみなさまへ



石光会長



森本社長

株主の皆様方には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第58期中間期(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)の営業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

今後も顧客満足度を高めるとともに収益力を強化し企業業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月

代表取締役会長 **石光 輝男**
代表取締役社長 **森本 茂**

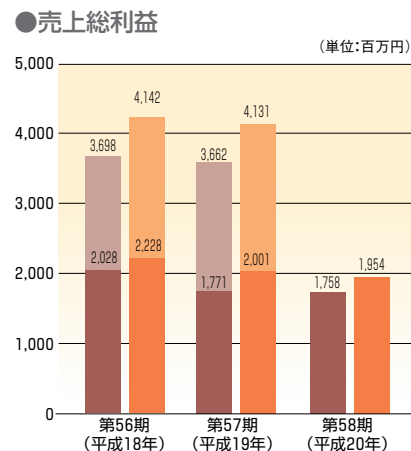
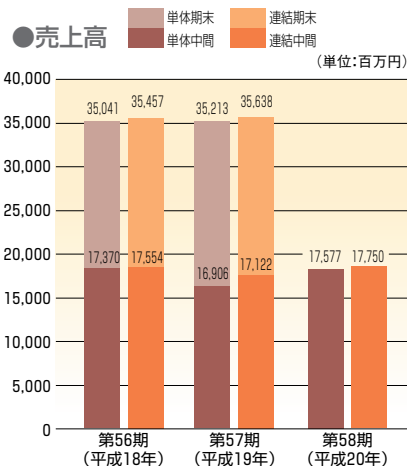
営業の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善が設備投資の増加や雇用の改善を促し、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、個人消費の伸び悩み、原油をはじめとする資源高、米国経済の減速懸念、サブプライムローン問題の顕在化による金融市場の不安定化など、先行きに不透明感を残しました。

当社グループの主力マーケットである飲料・食品業界におきましては、中国をはじめとする輸入食品への不安や国内商品の不正表示・虚偽表示問題もあり、安全で安心できる商品がますます強く求められています。また、バイオ燃料需要拡大による穀物相場の上昇、新興大国の食料需要の増大による調達競争の激化、異常気象による農作物の

不作、原油高による輸送費や包材費の上昇に円安も加わり、輸入品を中心にコストが大幅に上昇いたしました。一方、少子高齢化による需要の停滞感から国内での販売競争はますます熾烈になり、いわゆる「川上インフレ、川下デフレ」の厳しい状態が続きました。

このような状況の中で、当社グループは競争の軸を「品質」中心に定め、お客様とともに品質を創るマーチャンダイジング活動に取り組みました。原料調達から加工、流通、販促活動まで、国際的視野に立ち、お客様にその最適性を提案する活動及びお客様の視点から、お取引先様と当社グループが双方の強みを融合させて新たな価値を創り出していく活動を統合した「THE GLOBAL FOOD



キャッシュ・フローの状況

「MERCHANDISER」を目指すべき企業像として掲げて挑戦してまいりました。

以上の結果、売上高は17,750百万円（前年同期比3.7%増）と増加いたしました。飲料製品や輸入食品の販売価格の改定を上回る原料高や円安によるコスト上昇、飲料・食品業界の競争激化による利益率の低下により、営業損益は32百万円の損失（前年同期は営業利益58百万円）、経常損益は0百万円の利益（前年同期は120百万円の減少）と低下したことから繰延税金資産の回収可能性を見直し、その一部を取り崩すこととし、法人税等調整額に148百万円を追加計上いたしました結果、中間純損益は110百万円の純損失（前年同期は中間純利益172百万円）となりました。

●営業活動によるキャッシュ・フロー
営業活動の結果得られた資金は83百万円となりました。

これは、仕入債務の増加額674百万円及び未払金の増加額144百万円等に対し、売上債権の増加額149百万円及びたな卸資産の増加額486百万円と法人税等の支払額132百万円等によるものであります。

●投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動の結果使用した資金は214百万円となりました。

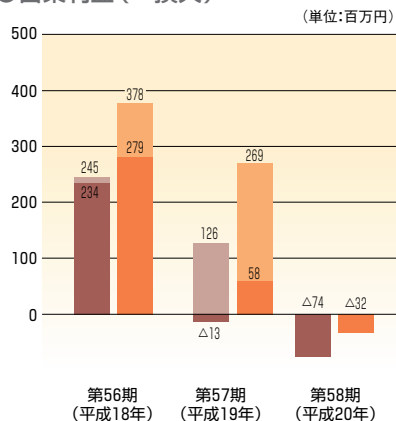
これは、固定資産の取得による支出116百万円及び貸付による支出77百万円等によるものであります。

●財務活動によるキャッシュ・フロー
財務活動の結果得られた資金は32百万円となりました。

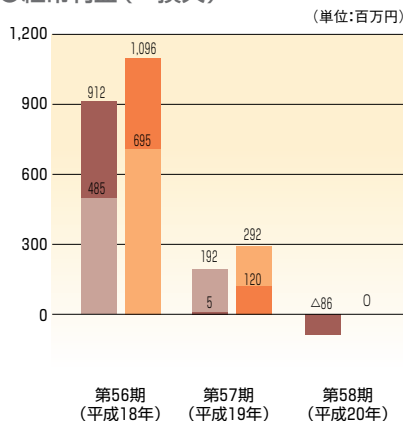
これは、借入金の収支による収入196百万円と、配当金の支払額158百万円等によるものであります。

以上の結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ107百万円減少（前中間連結会計期間は19百万円の減少）し、1,711百万円になりました。

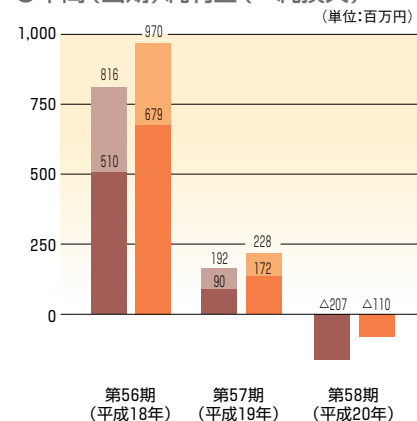
●営業利益（△損失）



●経常利益（△損失）

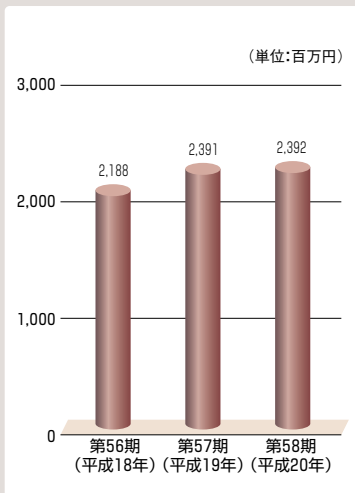


●中間(当期)純利益（△純損失）

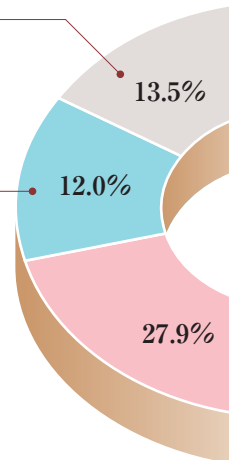


商品別概況

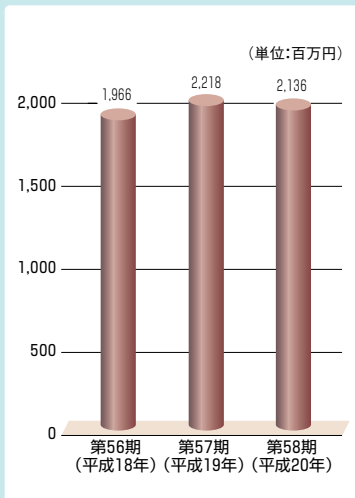
■コーヒー生豆



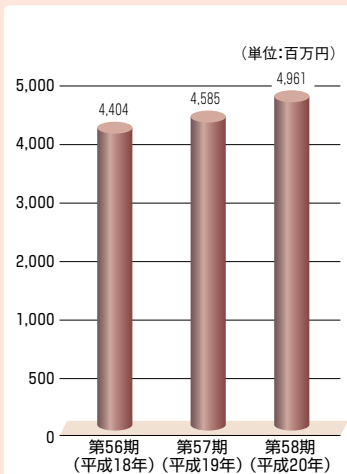
主力商品であるコーヒー生豆のニューヨーク市場価格(期近終値ベース)は、期初の108.60セント/ポンドから始まり、5月上旬には101.35セントまで下がりましたが、9月下旬には133.15セントまで上がり、期末は128.65セント/ポンドで終了いたしました。このようにコーヒー生豆相場が高値で推移したことから、価格訴求の強い取引を回避したため、販売数量は減少いたしました。相場上昇に伴い販売単価が上昇したことにより、売上高は2,392百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

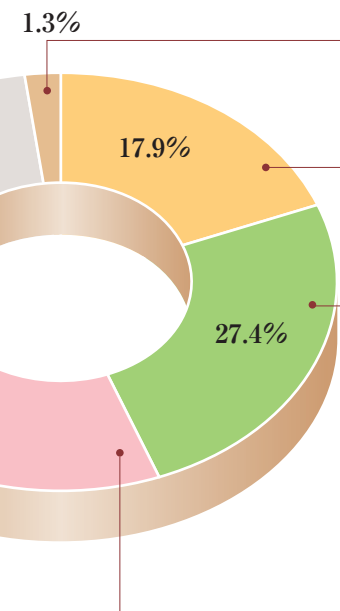


■飲料製品および原料



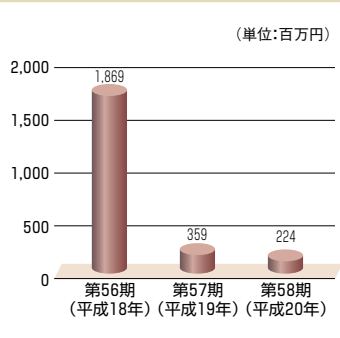
レギュラーコーヒーの売上高は、飲料メーカー向けの原料や家庭用の袋入り商品が減少したものの、コーヒーバッグ(家庭用簡易ドリップコーヒー)が引き続き好調なため、前年同期比0.2%の微増となりました。インスタントコーヒーの売上高は、飲料メーカー向けのパルク商品が増加したものの、家庭用商品が減少し、前年同期比3.0%減少いたしました。茶葉類の売上高は、飲料メーカー向けのウーロン茶原料が増加したものの、紅茶原料や緑茶原料が減少したため、前年同期比4.0%減少いたしました。その結果、飲料製品及び原料の売上高は2,136百万円(前年同期比3.7%減)となりました。





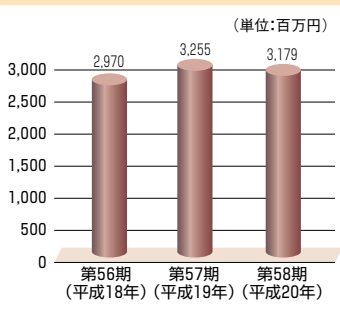
■常温食品

輸入商品及び自社ブランド商品のような当社がマーチャンダイジングした商品の売上高は、輸入農産物やイタリアからの輸入食品（パスタ・オリーブオイル・トマト）の増加により前年同期比2.8%増加いたしました。国内メーカー商品の売上高は、商品アイテム数の増加や販路の拡大により、前年同期比7.6%増加いたしました。食品の輸出売上高は主に東南アジア向けを中心に前年同期比17.7%増加いたしました。その結果、常温食品の売上高は4,961百万円（前年同期比8.2%増）となりました。



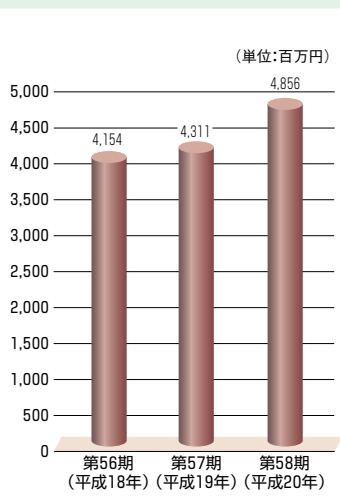
■その他

その他の売上高は、コーヒー関連の大口機械設備の売上がなかったことや雑貨等の輸出が減少したことにより、224百万円（前年同期比37.7%減）となりました。



■食品原料

食品原料の売上高は、トマト加工品や小豆加工品が増加したものの、生鮮野菜の減少や産地での不可抗力による製造遅れにより減少した栗原料・栗甘露煮製品が原因で、3,179百万円（前年同期比2.3%減）となりました。



■冷凍食品

輸入水産加工品の売上高は、食品メーカー向けのタコ加工品や外食店向けのエビ加工品の増加により、前年同期比16.4%増加いたしました。輸入調理加工品の売上高は商品アイテム数の増加や販路の拡大により、前年同期比25.5%増加いたしました。国内メーカー商品は新規得意先向けの増加により前年同期比8.7%増加いたしました。その結果、冷凍食品の売上高は4,856百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

中間連結財務諸表 要旨

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間連結会計期間末 (平成19年9月30日現在)	前中間連結会計期間末 (平成18年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	12,902	12,294
固定資産	6,419	6,293
有形固定資産	2,766	2,655
無形固定資産	13	14
投資その他の資産	3,639	3,622
資産合計	19,322	18,588
(負債の部)		
流動負債	8,505	8,340
固定負債	3,181	2,311
負債合計	11,687	10,652
(純資産の部)		
株主資本	7,390	7,605
資本金	623	623
資本剰余金	357	357
利益剰余金	6,415	6,629
自己株式	△4	△4
評価・換算差額等	43	128
その他有価証券評価差額金	88	105
繰延ヘッジ損益	△45	23
少数株主持分	200	202
純資産合計	7,634	7,935
負債・純資産合計	19,322	18,588

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	当中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	前中間連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)
売上高	17,750	17,122
売上原価	15,795	15,120
売上総利益	1,954	2,001
販売費及び一般管理費	1,987	1,942
営業利益又は営業損失(△)	△32	58
営業外収益	108	114
営業外費用	75	52
経常利益	0	120
特別利益	5	161
特別損失	6	0
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△0	281
法人税、住民税及び事業税	8	69
法人税等調整額	99	29
少数株主利益	1	9
中間純利益又は中間純損失(△)	△110	172

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

	当中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	前中間連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	83	△322
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214	△82
財務活動によるキャッシュ・フロー	32	402
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△16
現金及び現金同等物の増減額	△107	△19
現金及び現金同等物の期首残高	1,819	1,599
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,711	1,580

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



中間連結株主資本等変動計算書 当中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	623	357	6,685	△4	7,660	100	△4	96	210	7,967
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△159		△159					△159
中間純損失			△110		△110					△110
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)						△11	△41	△52	△10	△62
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△270		△270	△11	△41	△52	△10	△333
平成19年9月30日残高	623	357	6,415	△4	7,390	88	△45	43	200	7,634

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間個別財務諸表 要旨

中間貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間会計期間末 (平成19年9月30日現在)	前中間会計期間末 (平成18年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	12,672	12,005
固定資産	3,644	3,590
有形固定資産	2,218	2,170
無形固定資産	9	10
投資その他の資産	1,416	1,409
資産合計	16,317	15,596
(負債の部)		
流動負債	8,557	8,318
固定負債	3,050	2,215
負債合計	11,608	10,533
(純資産の部)		
株主資本	4,710	4,976
資本金	623	623
資本剰余金	357	357
利益剰余金	3,734	4,000
自己株式	△4	△4
評価・換算差額等	△1	86
その他有価証券評価差額金	44	63
繰延ヘッジ損益	△45	23
純資産合計	4,709	5,063
負債・純資産合計	16,317	15,596

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

(単位:百万円)

	当中間会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	前中間会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)
売上高	17,577	16,906
売上原価	15,819	15,135
売上総利益	1,758	1,771
販売費及び一般管理費	1,833	1,785
営業損失(△)	△74	△13
営業外収益	66	72
営業外費用	78	53
経常利益又は経常損失(△)	△86	5
特別利益	5	159
特別損失	6	0
税引前中間純利益 又は税引前中間純損失(△)	△87	165
法人税、住民税及び事業税	1	39
法人税等調整額	119	35
中間純利益又は中間純損失(△)	△207	90

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

（単位:百万円）

	株主資本										自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金				利益剰余金 合計		
		資本 準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金								
				配当準備 積立金		固定資産圧縮 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金				
平成19年3月31日残高	623	357	357	84	42	578	2,900	497	4,102	△4	5,077	
中間会計期間中の変動額												
剰余金の配当								△159	△159		△159	
中間純損失								△207	△207		△207	
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額（純額）												
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	—	—	—	△367	△367	—	△367	
平成19年9月30日残高	623	357	357	84	42	578	2,900	130	3,734	△4	4,710	

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算差額 等合計	
平成19年3月31日残高	56	△4	52	5,130
中間会計期間中の変動額				
剰余金の配当				△159
中間純損失				△207
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額（純額）	△12	△41	△54	△54
中間会計期間中の変動額合計	△12	△41	△54	△421
平成19年9月30日残高	44	△45	△1	4,709

会社情報

平成19年9月末現在

会社の概要

会社設立 昭和26年5月
会社名 石光商事株式会社
資本金 62,320万円
本社 神戸市灘区岩屋南町4番40号
従業員数 168名

役員

代表取締役会長 石光 輝男
代表取締役社長 森本 茂
専務取締役 中西 繁
専務取締役 草場 鉄郎
常務取締役 久保 潤一
取締役相談役 駒澤 啓之
取締役 内田 十司夫
取締役 北川 誠
取締役 山口 啓介
取締役 市橋 理幸
常勤監査役 山岸 公夫
監査役 入江 和義
監査役 樋口 進二

株式の状況

- ①発行可能株式総数 22,400,000株
②発行済株式総数 8,000,000株
③中間期末株主数 7,769名
④大株主

株主名	持株数	出資比率
石光 輝男	398,090 株	4.97 %
三菱商事(株)	378,370	4.72
石光商事従業員持株会	358,160	4.47
(株)三井住友銀行	252,640	3.15
駒澤 啓之	210,800	2.63
日米珈琲(株)	204,000	2.55
竹田 和平	200,000	2.50
丸紅(株)	192,270	2.40
石光 百合	165,000	2.06
伊藤忠商事(株)	150,000	1.87

株式分布状況

所有者別		所有者別
12名 (0.15%)	金融機関	942,160株 (11.78%)
9名 (0.12%)	証券会社	20,956株 (0.26%)
47名 (0.61%)	その他の法人	1,242,170株 (15.53%)
4名 (0.05%)	外国法人等	35,800株 (0.45%)
7,697名 (99.07%)	個人・その他	5,758,914株 (71.98%)
7,769名 (100.00%)	合計	8,000,000株 (100.00%)

グループ情報

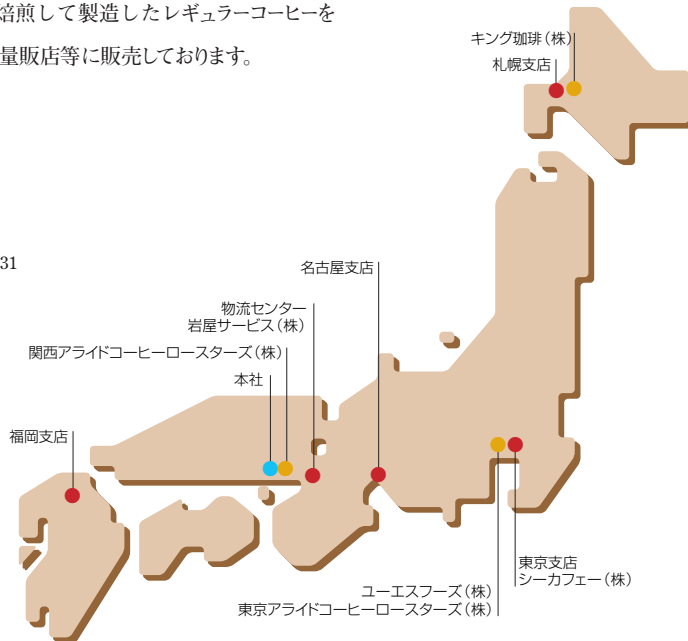
- 当 社 … 当社取扱主要品目を海外から輸入または国内で仕入れ、全国のコーヒー焙煎業者、業務用食品問屋、飲料メーカー、食品加工メーカー、量販店、外食チェーンに販売しております。
- シ ー カ フ ェ ー(株) … 当社取扱品目のアンテナショップとしてイタリアンレストランを経営しております。
- ユ ー エ ス フ ーズ(株) … コーヒー生豆を自家焙煎喫茶店等の小口ユーザーに販売しております。
- キ ン グ 珈 琲(株) … コーヒー生豆を焙煎して製造したレギュラーコーヒーを常温食品及び冷凍食品とともに業務用として喫茶店等に販売しております。
- 岩 屋 サ ー ビ ス(株) … 関西地区における当社の運送業務を行っております。
- 関西アライドコーヒーロースターズ(株) … コーヒー生豆を焙煎し、当社が販売するレギュラーコーヒーの製造・加工受託を行っております。
- 東京アライドコーヒーロースターズ(株) … コーヒー生豆を焙煎して製造したレギュラーコーヒーを飲料メーカー及び量販店等に販売しております。

〈事業所〉

●本	社	神戸市灘区岩屋南町4-40
●東	京	支店 東京都大田区山王1-4-6
●福	岡	支店 福岡市博多区堅粕3-13-13
●名	古	支店 名古屋市北区五反田町91
●札	幌	支店 札幌市豊平区美園一条6-1-31
●物	流	セ ン タ ー 大阪市西淀川区福町1-2-24



本社



S.ISHIMITSU & CO.,LTD.

株主メモ

定時株主総会 毎年6月中
基準日 定時株主総会 3月31日
配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日
(剰余金を配当する場合) 中間配当金 9月30日
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
〒530-0004
同事務取扱場所
(お問い合わせ先) 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話0120-094-777(通話料無料)

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
野村証券株式会社 全国本支店
○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行
株式会社のお電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話(通話料無料)
0120-244-479 (本店証券代行部)
0120-684-479 (大阪証券代行部)
ホームページ
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
公 告 方 法 電子公告
[http://www.ishimitsu.co.jp/
japanese/koukoku.html](http://www.ishimitsu.co.jp/japanese/koukoku.html)